

第586回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

ラジオ番組 「はや・すた」



平成 25 年 4 月 23 日

BSN新潟放送

第586回新潟放送番組審議会

1.開催日時 平成25年4月23日(火)午前11:00~

2.開催場所 メディアシップ 13階会議室

3.委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 松川公敏

委員 渡辺隆

委員 古賀豊

委員 小島良子

副委員長 相羽利子

委員 正道かほる

委員 齋藤俊太郎

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員 高井盛雄

委員 行形貴子

委員 佐々木広介

新潟放送側出席者

社長 竹石松次

常務 梅津雅之

営業局長 島田好久

常務 熊倉雄三

編成局長 野島常雄

ラジオセンター長 小原弘志

説明員 ラジオセンター

ディレクター 五十嵐滋章

事務局

社長室長 佐藤隆夫(事務局長)

考査広報部 増山由美子(事務局員)

4.議題

・報告事項

番組種別公表制度に基づく「放送番組の種別と種別毎の放送時間」に関する事項

・審議番組

ラジオ番組「はや・すた」

放送日時:4月3日(水)午前 7時00分~8時52分

5. 議事の概要

- ・ はじめに、野島編成局長より「放送番組の種別と種別毎の放送時間」について報告
- ・ 続いて、ラジオ番組「はや・すた」について審議

～番組審議委員の意見～

情報量が多く、よく収集している。毎朝何時頃から準備をしているのか？

スピーディーで軽やかなトーク。細やかな作りになっていて、所々時刻を

言うのも時計代わりになって良い。BGMがせわしない感じなのが気になった。

日常に役立ちそうな話題が入っている。ニュース・天気予報・交通情報がほぼ20分間隔で配置されていて、どこから聞いても違和感のない構成である。

今のラジオ番組は、どの時間帯にどんな情報が必要か研究され、形が出来上がっている。その分、変化がない。ラジオの聞かれ方が変化している中、ラジコの内容も変えていかないと今後の展開は難しいのではないかと？

車の中で聞いたが、早いテンポが心地良いと感じた。様々な年代向けの情報が散りばめられている。

朝のリズムで爽やかに聞ける。本を読まなくなった世代にとって、ラジオで伝える小さな情報は生活の役に立つのではないかと。

番組の進行にリズム感がある。時間帯ごとの固定ファンがいるのではないかと。

パーソナリティのそつのない進行は、聞きやすい反面、個性が感じられないという印象にも繋がる。

「災害の時はラジオ」というイメージがあるが、災害および報道の視点でのラジオの役割をどのように考えているか聞きたい。

～五十嵐ディレクター・小原ラジオセンター長から～

多岐にわたるご意見をいただきありがとうございました。

朝の時間帯は分単位で聴く人の状況も変わるので、テンポの良さ・構成なども7時台と8時台で変えている。

パーソナリティは放送の2時間前から準備をしている。交通速報・天気予報・ニュースはバランス良く入れるよう心掛けている。

BGMに関しては、朝はテンポ良くという人と、朝はゆったりと言う人で意見が分かれる。試行錯誤している。

パソコンでラジオを聴くリスナーが増えている中、ラジオで聴いている層とラジコで聴いている層で時間帯が違う。どう対応していくか課題。

報道部にあるブースからいつでも速報を入れる体制を整えているが、災害発生時は全面的に災害報道に切り替える。災害後も「寄り添うラジオ」として最大限のフォローをしていくことを大切にしている。

【文責・番組審議会事務局】